



AMBITION #001
三重県警察本部交通部交通機動隊
警察官(交通機動隊)

可能性に挑戦!!

紹介企業情報/三重県警察本部交通部交通機動隊

■住所 津市久居明神町250
■URL www.police.pref.mie.jp
■勤務時間 8:30-17:15

アンビ
シャス的

なるためには

- 必要資格 / 大型自動二輪車
- 主な進路 / 高校卒業→警察官採用試験に合格→警察学校に入校→交番勤務を経験→大型自動二輪車の免許を取得→交通機動隊に配属

「小中高と野球をやっていました。副キャプテンも任せてもらい、野球漬けの毎日でしたね。野球を通じ、チームワークや団結力を養うことができたと思います。警察官を目指したのは、小学校高学年のころ。自分の父が警察官で白バイに乗っており、その姿を見て純粋にかっこいいなあと、警察官を志しました」

――仕事について――
「警察官採用試験に合格後、まず警察学校に入校することになります。高卒者は10ヶ月の教養期間があり、そこで警察官としての心構えなどを学びます。刑法や民法などの法律の勉強、柔道や剣道の授業などもありました。警察の制服を着て街に出たら、新人もベテランも市民から見れば関係ありません。警察官としての自覚がとても大切、そのための厳しい教養期間だったと思います」

警察学校を卒業後、「どのような仕事をされましたか?」

「最初は、みんな交番勤務を経験することになります。その後の2年間は、機動隊として勤務しました。隊での1年目は、APEX首脳会議の警備、皇太子殿下が近辺に来たときの警備などに出動しました。2年目は、東日本大震災が発生し、東北地方に派遣されることになりました。東北では、取り残された人たちの救出活動、行方不明者の捜索活動などが中心でした。ほかにも福島第一原発2号機内の検問活動など、あついう間の1年でしたね」

――仕事内容を簡単に教えてください――
「現在は、交通機動隊として勤務しています。国道23号線を中心とした交通指導取り締まりが主な仕事です。白バイに乗車して勤務するの

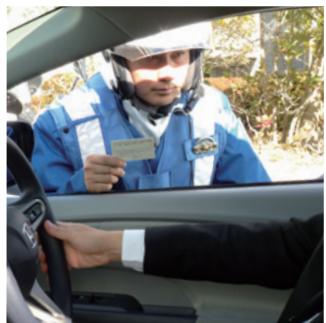
で、機動力をいかした取り締まり活動に従事しています。目的は、あくまで取り締まりではなく事故防止。白バイの姿を多く見せることで、ドライバーに安全運転を意識してもらうことが大切です」

――仕事をする上で、心がけていることを教えてください――

「警察官の殉職事案で多いのは、白バイ隊員の事故。安全に気をつながら取り締まり活動をするよう心がけています。白バイ隊員の事故は最大の不祥事だという気持ちで日々の仕事に取り組んでいます」

――やりがい――

「取り締まつたドライバーの中にいる『事故する前に止めてくれてありがとう』と言つてくれる方もいるんです。そういうときが、自分の思いが伝わったと感じる瞬間です。死亡事故の件数が減っていくと、事故防止の成果が出たと実感しますね」



――なるためには――
「交通機動隊として仕事をするには、**大型自動二輪車**の免許は必須です。高校もしくは大学卒業後、警察官採用試験に合格する必要があります。合格後、警察学校で訓練を積み、まず交番勤務を経験することになります。その後、交通機動隊の部署に配属されれば、交通機動隊として働くことができます。必ずしも自分の希望通りに配属されるかは分かりませんが、諦めずにアピールし続けることが大切ですよ!」
お忙しいところ、ありがとうございます!」

豊田 優介さん

昭和63年生まれ

・出身高校

神戸高等学校

12歳



23歳



25歳

警察官(交通機動隊)

白バイに乗っていた父の姿に憧れ、警察官を志す。

警察官採用試験に合格。交番勤務、機動隊での勤務を経て、交通機動隊へ。

取り締まりではなく事故防止のため、白バイに乗り、市民の安全を守る。

